

2015 年度 早稲田大学 国際教養学部 国語解答例

(一)

[出典] 今村仁司『抗争する人間』「第一章 欲望としての人間」の前半部分。途中に一部省略がある。

問一 1 ア 2 イ 問二 エ 問三 イ 問四 オ 問五 ア  
問六 オ 問七 ウ 問八 エ 問九 エ・カ

(二)

[出典] 吉野せい「水石山」(『涙をたらした神』所収)の前半部分。

問十 エ 問十一 オ 問十二 ウ 問十三 イ 問十四 オ 問十五 ア  
問十六 ウ・エ

(三)

飛鳥井雅有『飛鳥井雅有日記』(春のみやまち)の一節。

問十七 イ 問十八 イ 問十九 エ 問二十 ア 問二十一 オ  
問二十二 ウ 問二十三 イ

[講評]

(一)は、昨年度の「随筆」に代わって、今年度は、2013年度と同様に「評論」が出題された。抽象的な語彙が多く使われ、一見難解な文章に見えるが、作者の主張自体は文中で何度か繰り返されており、把握するのはそれほど難しくないだろう。本文同様、問三、問四、問五、問六の選択肢にも抽象語が並ぶが、問三がやや難しい以外は、前後の文脈から答えは絞りきれぬはずである。問二の接続語補充問題は、bがやや難しいが、先にcを考えれば、自ずと答えは一つに決まる。問八は、早稲田お得意の脱文挿入問題だが、前だけでなく後ろに続く文脈を考えれば、容易な問題である。

(二)は、昨年度の「小説」から、今年度は2013年度と同様に「随筆」に代わったが、(一)に比べて文学的な文章が出題されるという傾向は変わっていない。(一)と比べて、一見親しみやすく見えるが、時間の推移がとらえにくく、また、作者の心情も簡潔に表現されている分、読者の想像に任されている部分が多く、答えが絞りにくい問題である。特に、問十三、問十四、問十六のような問題は、受け取る側の主観がどうしても入ってしまいがちである。しかし、こうした問題こそ、ぎりぎりまで前後の文脈から意識的に答えを絞り込む努力が必要である。

(三)は、昨年度同様古文の問題。出典自体は、それほど受験生になじみがある作品とは言えないが、早稲田としては標準的な難易度の文章であると言えよう。ただし、「日記の読解の基本」と「郭<sup>ほととぎす</sup>公の初音」に関する古典常識があった方が、内容の理解は深まるだろう。実際、問十七はこの古典常識を生かした設問になっている。こうした古典常識に関わる設問は、早稲田ではよく出題されるので、普段の学習を通して積極的に知識を吸収していくことが必要である。また、問二十一、二十二では、古文単語の知識だけでなく、文脈も考慮することが求められている。

2015年 早稲田大学 国際教養学部 英語解答例

READING SECTION

- I (1) ①-G ②-D ③-J ④-E ⑤-K ⑥-C ⑦-F ⑧-A  
(2) -A, B, H, K  
(3) [1]-C [2]-E [3]-E [4]-C [5]-C [6]-A [7]-C  
[8]-B  
(4)-C  
(5)-D

- II (1) 1-D 2-C 3-E 4-C 5-B 6-C 7-E 8-D  
(2) 1-E 2-B 3-E 4-C 5-D 6-D 7-C 8-B  
(3) 1-B 2-D 3-A 4-C 5-D 6-C 7-B 8-B

WRITING SECTION

III 2020年の東京オリンピックは、その開催が7月から8月にかけて設定されているが、これはこの年が年間で最も暑くなる時期であり、選手にとってリスクとなることが懸念されている。過去のパリ大会も暑かったが、東京では湿度が高く、体で感じる温度を押し上げることになる。この状況は少なくとも過去120年間で初めてのことである。

IV I think that the age of criminal responsibility should be set to 10, firstly because 10 year-old-children can understand that a crime is an antisocial behavior and it causes damage to other people and makes them unhappy. And the second reason is that those who live in the society are to know the basic social norms and rules, so they have the ability to fulfill their responsibilities.

LISTENING SECTION

- I 1-D 2-D 3-C 4-B 5-B 6-C  
7-A 8-D 9-B 10-C 11-C 12-A
- II 1-T 2-F 3-F 4-T 5-T 6-F  
7-T 8-F 9-F 10-F 11-T 12-T

※ コメント 段落ごとの趣旨をとらえる長文問題・物語の内容について答える長文問題、およびライティング問題の出題形式は昨年同様。語彙の難度が年々アップしている。長文の評論の内容も難度が高い。